



秋たけなわ

スポーツ公園のコスモス

「皆が一つになります 先日、孫の誕生日と
ように」の聖句をス 敬老の日を合わせて家
ローガンに家族の一致 族全員が集まった。敬
を心がけている。その 老の日のプレゼントは
中心は5歳になった 「アレクサ」と呼びか
孫。

今は運動会シーズン。
私の子どものころは、 ちと孫がつながり、画
早朝からゴザ敷きが父 面右上には我々の顔も
親の仕事だった。そのゴ 写るテレビ電話だっ
ザに家族が集まり、昼 と映像付きで会話が出
休みはみんなで手づく 来る。便利な世の中に
り弁当を楽しんだ。 なったとつくづく感じ
一つである。

我々の想像を越えた
形でITの発達にもつ
いて行くことができる。
有難いことだ。我々も
期待に応えようと話題
を共有するようにして
る。その一つが、皆
る。昨年植えたばな
のスイセンやチュー
リップの球根が出てき
て配置が難しい。しか
し、ここにも家族が友
人が集うと思いがなが
ら、黙々と草抜きをす
る。どっちが根でどっち
から花が咲くかわから
ない球根があるので聞
くと「想像してみてください
か。」
読書にスポーツ、食
べ物と秋を堪能する。
肌寒い朝夕を感じ、夜
空は冴え冴えとした月
が美しい。
「来年の今月今夜の
この月を僕の涙で曇ら
せてみせる」金色夜叉
の貫一のセリフだ。
私は妻へのプレゼン
トにコスモスは添えな
いつもりでいる…。
妻には孫の笑顔が最
大のプレゼント。小さ
いころの子どもを思い
浮かべる。確かに孫の
笑顔こそ最大のプレゼ
ントである。



一面の色とりどりのコスモス



コスモスと孫

最近、長男
と孫が家庭菜
園に挑戦し、
収穫物を食卓
で楽しんでい
てそのせいか、
食はず嫌いが
なくなったと
話してくれ
た。私たちも、
ブランターに
レタスやナス、
トマトを植え
てみた。息子
の指導で、そ
れなりの収穫
があった。
今、来年の
春を想像しな
がら、花や球
根を植えてい
とか「美しく整ったも
と妻は言う。「感性を
働かせば上か下か自ら
解かる」と教えてくれ
ない。冬の間、命が育
つのを待てば春に可愛
い花が咲く。球根を植
えながら、静かに待て
ば春が訪れることを
知った。
下松スポーツ公園の
コスモスが見ごろだと
いうので、孫と見に行
くことにした。コスモ
スよりも、ロープを伝
て山を登り降りするの
に夢中。やはり男の子
である。
コスモスという名前
はギリシャ語で「秩序」
である。
「来年の今月今夜の
この月を僕の涙で曇ら
せてみせる」金色夜叉
の貫一のセリフだ。
私は妻へのプレゼン
トにコスモスは添えな
いつもりでいる…。
妻には孫の笑顔が最
大のプレゼント。小さ
いころの子どもを思い
浮かべる。確かに孫の
笑顔こそ最大のプレゼ
ントである。